



エンジョイ、 eスポーツ!

特集 eスポーツ、広がる輪

- つながり、支え合い、誰一人取り残さない社会を
- 部落差別の解消を目指して
- 安全・安心な医療を受け続けるために



大規模な国際大会が各地で開催され、オリンピック種目への採用検討も報じられるなど世界的な盛り上がりを見せる「eスポーツ」。ビデオゲームによる対戦を競技として捉えるもので、老若男女を問わず楽しめることも魅力の一つ。10月に開催される「ねんりんピック」とっとり大会で初めて正式種目として採用されるほか、部活動として取り組む高校や地域での体験会なども広がっており、幅広い年代のプレイヤーが競技に親しんでいます。

年齢、性別、垣根なし!

eスポーツ 広がる輪



多様な楽しみ方伝えたい

「eスポーツは、誰でも始められて、どこからでも世界と繋がれるのが魅力」。そう語るのは(一社)鳥取県eスポーツ協会副理事長の谷口拓也さん。同会は、大会の開催や



ゲーミングチームの主宰などのほか、ねんりんピックとっとり大会eスポーツ競技や県が各地で開催している体験会の実施運営、高校部活動への支援などを通じて、eスポーツの普及や人材育成を目指し活動しています。

「仲間同士での意思疎通が必然的に生まれるし、ゲームという共通言語を介して海外のプレイヤーとの交流もできる。eスポーツは協



ねんりんピック県西部地区予選会で優勝した「たいこの素人チーム」



調性やコミュニケーション能力を育む格好のツールでもあるんです」と強調。さらに「高齢者も安全に楽しみ、適度な運動効果も得られる。認知症予防につながることも期待されています。そうした多面的な魅力も発信していきたい」と力をこめます。

部活動としての魅力

県立米子南高校では、2022年にeスポーツ部を設立。2023年には全国高校対抗eスポーツ大会「STAGE:0」で中国・四国

ブロック大会ベスト8の成績を残しました。一方そうした大会などへの出場のほか、地域でのボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。公民館や学童保育での交流会や体験会、商業施設でのイベント運営など多岐にわたって活躍。評判が伝わりさまざまなオファーが舞い込みます。

顧問の橋本圭司けいじ主幹教諭は、「部員の中には人付き合いに苦手意識を持っている子もいますが、部活に來れば自然と集まってプレイすることになるし、ボランティアでは幅広い世代の方との関わりも生ま



数人で集まって思い思いのゲームをプレイ。先輩後輩の間もフランクな関係

れる。そうした経験を通して人との繋がりを感じ、居場所ができて自信にもなっていくのでは」と意義を語ります。

部の雰囲気は明るく和やか。この春入部した1年生もすぐに打ち解け、居心地の良さを感じている様子です。そんな新入部員の一人、恩田はるさんは「協力したり対戦したり、みんなで一緒にできるのが部のいいところ。思い描いていたとおりの環境で、すごく楽しい」と充実した表情。ほころぶ顔が、部の魅力を物語ります。

楽しさ共有できるのが面白い

米子南高校eスポーツ部 部長

ひ わ た し せい や
樋 渡 惺 也 さん

ゲームが好きでずっとやってきたけれど、eスポーツ部に入って新しい魅力に出会ったと思っています。仲間がいて、観客がいて、盛り上がりを共有するのがすごく楽しい。ボランティア活動は喜んでもらえることが嬉しいし、刺激になります。今年もSTAGE:0に挑戦し、まずは中四国大会で1勝、その先に繋げていきたいと思っています。



部員たちは和気あいあい。活動中は笑い声が絶えない

使用するゲームはNintendo Switch版「太鼓の達人 ドンダフルフェスティバル」。チームメイトや観客の応援で一層白熱



広がる笑顔と可能性

一方、ねりんピックeスポーツ競技の県西部地区予選会が5月に「みなとテラス」(境港市)で開催されました。3人1組20チームがエントリーし、4つの椅子を巡って争奪戦を展開。「周りには上手な人ばかりでびつくり。結果がまだ信じられない」と話すのは、優勝した「たいこの

素人チーム」の上野恵美子さん。チームは職場の仲間で結成、お互い刺激し合いながら自主練習に励んできたと言います。福祉施設に勤める上野さんらチームのメンバーは、「今回は自分たちが楽しんでいます。が、介護予防に有効というのもしごくうなずける。施設でもどんどん取り入れていきたい」と声をそろえます。

予選会は県代表を争う真剣勝負ですが、会場は終始歓声や笑い声に包まれ、中には対戦相手とアドバイスし合う姿も。eスポーツを楽しむ中で、自然と会話が弾み、コミュニティも広がっていきます。



「集まってプレイすれば、初対面でも自然と打ち解けられる。そんな魅力も伝えながら、もっともっと裾野を広げていきたい」と語る谷口さん

「eスポーツには、競技性だけでなくさまざまな魅力、可能性がある。それらを生かして鳥取を楽しく面白く、盛り上げていけたら」と話す鳥取県eスポーツ協会の谷口さん。世界を席巻するeスポーツの波に乗って、グローバルに活躍する人材の育成や地域の活性化を見据えます。



ねりんピック予選にエントリーする選手の練習会も兼ねて開かれた体験会(5月、鳥取市城北地区公民館)

ねりんピックはばたけ鳥取2024「eスポーツ」

■期日：10月20日(日)(予選)
10月21日(月)(決勝)

■会場：境港市民交流センター
みなとテラス(境港市上道町)

問ねりんピックはばたけ鳥取2024 実施本部事務局
☎0857-26-7910 📠0857-26-8741

ねりんピックはばたけ鳥取2024 境港市実行委員会事務局
☎0859-47-1039 📠0859-44-2120





つながり、支え合い、誰一人取り残さない社会を ～孤独・孤立の対策～

01

生活困窮者支援

- 一人ひとりの状況に応じた相談や支援
- 治療費や介護施設利用費、生活費等への援助



02

ひきこもり支援

- 支援センターによる一人ひとりに寄り添った相談や支援



03

ヤングケアラー支援

- LINEで気軽に相談
- 理解を深めるフォーラムや研修会



その他にもさまざまな支援があります。
詳しくはこちら▶



鳥取大学医学部 教授 ^{たけだ しんや} 竹田 伸也 さん



私たちは誰もが弱さを持っており、孤独・孤立に陥る可能性があります。孤独・孤立を防ぐためには、安心して弱さを表せる居心地のよい場所を持つことが大きな意味を持ちます。

困ったときに気軽に「助けて」と言い、支えを必要とする人がいたらできる範囲で力を届ける。この2つができれば、より居心地のよい地域になるのではないのでしょうか。

価値観・働き方・ライフスタイルの多様化、少子化、更には新型コロナウイルスによる人と人との接触機会の減少。そうした社会の変化から、生活困窮、ヤングケアラー、ひきこもり、産後うつ、老老介護など、多様で複雑な要因による孤独・孤立が深刻な社会問題となっています。

県は、令和4年12月に「鳥取県孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条約」を制定。さまざまな機関が関わりあい、支援の輪を広げる施策を進めています。

さらに、国が孤独・孤立の問題を社会全体の課題と位置づけ、「孤独・孤立対策推進法」を今年4月に施行したことに伴い、県では「とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を拡大。より多くの支援機関との連携を強化することにより、孤独・孤立対策を効果的に推進する官民連携体制を築

いていきます。

すべての人にとって無縁ではない孤独・孤立。本人が望まない孤独を感じ、または孤立している人も社会の中で声を上げられずに一人で悩みを抱える人たちが、地域、学校、会社といった身近なところにいます。見守りや声掛けを通じて、人と人をつながり合い、支え合える環境をつくっていきませんか。

とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

孤独・孤立対策の推進に関連する活動を行う団体を募集しています。

加入するとできること・・・

- ★他団体と「つながる」
- ★国、県からの情報や他団体のイベント等を「知る」
- ★活動を他団体や地域へ「知らせる」

団体募集



お申し込み等詳しくはこちら



問 孤独・孤立対策課

☎0857-26-7688 F 0857-26-8116



部落差別の解消を目指して



人権・同和問題講演会

日時:7月17日(水)午後1時30分～3時30分
 場所:エースパック未来中心 小ホール(倉吉市駄経寺町)
 演題:激変する情報環境と差別・人権問題
 ～IT革命の進化をふまえて～
 講師:北口末広さん
 (近畿大学人権問題研究所特任主任教授)

そのほか、部落解放月間に合わせて各地でさまざまな催しを予定しています。詳しくはこちら▶



問 人権・同和对策課

☎0857-26-7074 📠0857-26-8138

同和地区(被差別部落)出身であることを理由に結婚や就職、日常生活などさまざまな場面で不当な扱いを受ける―それが部落差別です。部落差別はなくなつたと思ふ人もいるかもしれませんが、今もなお理不尽な差別に苦しむ人たちがいます。職場で差別的な言葉を浴びせる、インターネット上で差別的な内容の書き込みをする、子どもの結婚相手と同和地区の出身であるかどうかを調べるといった人権を侵害する行為が、今でも行われています。

一方、国では、差別のない社会の実現を目的とする「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されています。差別をなくすためには、根拠のない噂話などを鵜呑みにせず、まずは正しい知識を持つことが大切です。県では、7月10日～8月9日を「部落解放月間」と定めており、この期間中は、人権・同和問題に関する講演会等が県内各地で開催されます。この機会に、理解を深め、身近な問題として考えてみてください。



安全・安心な医療を受け続けるために ～医師の働き方改革～

皆さまとともに進める取り組みです

- ✓ 「かかりつけ医」を持ちましょう
体調が悪い時はすぐに大きな病院ではなく、まず「かかりつけ医」で受診をお願いします。
- ✓ 診療時間内の受診にご協力を
- ✓ “いつもの先生”以外の医療スタッフの対応にご理解を
- ✓ 救急電話相談を利用しましょう
救急車を呼ぶか、医療機関を受診すべきかなど判断に迷った際に、医師等のアドバイスが24時間受けられます。
 - とっとり子ども救急ダイヤル (15歳未満の子ども)
☎#8000(ダイヤル回線・IP電話の場合 0857-26-8990)
 - とっとりおとな救急ダイヤル (概ね15歳以上のおとな)
☎#7119(ダイヤル回線・IP電話の場合 0857-26-7990)
- ✓ 小児救急ハンドブックを利用しましょう
(※下記二次元コード内からダウンロードできます) お子さまの症状に応じた対応などを紹介しています。



日本の医療はこれまで医師の長時間労働によって支えられてきました。過重な労働は、疲労や睡眠不足による医療の質や安全性の低下につながる懸念があります。このため今年4月からスタートしたのが、医師の働き方改革。医師の労働時間の短縮は、医療の受け手側に提供される医療の質・安全につながることも、将来にわたって持続可能な医療提供体制を維持していくための重要な取り組みです。

清水正人鳥取県医師会長からのメッセージ

長時間労働の結果として健康を崩す医師も少なくなく、また、疲労が原因で細心の注意を払っていてもミスをしてしまう危険性も高まります。

働き方改革により、これらの課題を解決し、安全で安心できる地域医療が提供できるよう、取り組みへのご理解・ご協力をお願いいたします。



私たちの医療を守るため、皆さまのご理解・ご協力をお願いします。



問 医療政策課

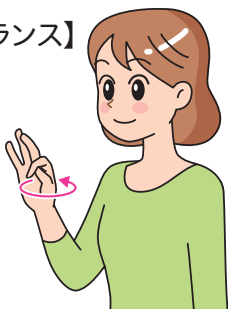
☎0857-26-7195 📠0857-21-3048





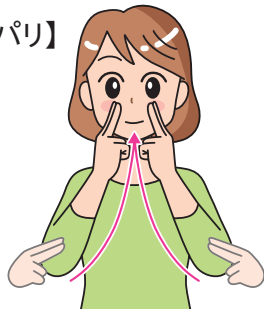
手話を覚えてみよう ▶▶ 「フランス/パリ」

【フランス】



国際手話の指文字「F」の右手を返して甲を前に向ける

【パリ】



両手2指の指先を向き合わせ、間を狭めながら上に上げる

パリオリンピック・パラリンピックがいよいよ開幕。鳥取県ゆかりの選手の活躍にも期待が高まります。みんなで選手を応援して、大会を盛り上げよう！

【開催期間】

- パリオリンピック：7月26日～8月11日
- パリパラリンピック：8月28日～9月8日

監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
☎0859-30-3720 📠0859-30-3131



読者の声

(5月号の意見・感想から)

- 災害はいつ起こるかかわからないため、もしもの時の行動や備えについて家族と話し合おうと思いました。また備蓄品も早めにリストアップして、3日分揃えようと思いました。(30代)
- 税金がどんなことに使われているか、鳥取県が何に力を入れているかを知ることができました。(20代)
- プロによる指導は緑化へのモチベーションがあがるとともに、地域活性化にもなると思います。我が地域でも制度を活用してみたいと思いました。(40代)



5月号には1,097人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。

DATA

県人口/533,023人
(男 255,085人、女 277,938人)
世帯数/222,105世帯
(2024年5月1日現在推計)



県産品プレゼント

郷の焼き菓子ボックスA【5名】

大江ノ郷では、天美卵の美味しさを味わっていただくため、添加物は一切使わず、素材そのものの特徴を引き出したお菓子作りを行っています。楽しい団欒のひとつに、天美卵をたっぷり使った、卵の味わい豊かな郷の焼き菓子はいかがでしょうか♪



☎ 大江ノ郷自然牧場(八頭町) ☎0120-505-606



10月19～22日にねりんピックはばたけ鳥取2024が開催されます。新種目eスポーツは「境港市民交流センター 〇〇〇〇テラス」で開催。空欄に入るのは次のうちどれでしょう

- ①さかい ②みなと ③みらい

【応募方法】

クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

■応募締め切り 7月19日(金)必着



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブページ応募フォーム
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>

◎6月号のクイズの答えは「③のりりん」でした。



LINE
@tottori.pref_line



Instagram
@tottoripref



X (IBTwitter)
@tottoripref



Facebook
@tottori.pref.kouhou



☎ 問い合わせ先 📠 申込先 ☎ 電話 📠 ファクシミリ 📧 メールアドレス



初開催種目 鳥取県発祥「バウンスボール」

バウンスボールは、昭和62年に考案された、年齢や性別を問わず楽しめる鳥取県発祥の生涯スポーツです。3人1組を基本として、バドミントンのシングルスコートの広さで行います。軽くて柔らかい専用のボールをバウンドさせながら手のひらで打ち合うスポーツで、ボールの予測不能な動きが魅力。小学生から高齢者まで幅広い世代に親しまれています。ねりんピックとっとり大会を契機として、さらなる競技人口の拡大も期待されています。今大会注目競技の1つ!

☎ねりんピックはばたけ鳥取2024 実施本部事務局
☎0857-26-7908 ㊟0857-26-8741



バウンスボールについて詳しくはこちら▶



参加しよう!
盛りあげよう!

第36回全国健康福祉祭とっとり大会
**ねりんピック
はばたけ鳥取2024**
咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花
令和6年10月19日(土)~22日(火)

県からの お知らせ

あんしんトリピーメール・アプリの登録を!

防災等に関する情報をリアルタイムでお届け。災害から身の安全を守るため、ぜひご活用ください。



あんしんトリピーメール

- 県内の防災・危機管理情報などをメールでお知らせ
- 欲しい情報を選択可能



あんしんトリピーナビ(防災アプリ)

- 多様な防災情報をプッシュ通知でお知らせ ※お知らせの内容はあんしんトリピーメールの情報です。
- 避難所や河川・道路画像の確認が可能
- 多言語に対応



☎危機対策・情報課 ☎0857-26-7950 ㊟0857-26-8137

徳島県 からの お知らせ

「阿波ナビ」スタンプラリーに 参加して徳島の名産品をゲット!

徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」で徳島の名産品が当たるスタンプラリーを開催中。

宿泊施設、観光施設、物産店を楽しみながら巡って、「徳島ラーメン」、「なると金時」や「阿波尾鶏」などの徳島グルメをゲットしよう! スタンプをたくさん集めるとより豪華な賞品の抽選に参加できますよ!



徳島ラーメン

「阿波ナビ」はこちら

☎徳島県観光スポーツ文化政策課 ☎088-621-2338 ㊟088-621-2851



人権に関する問題を 一緒に考える相談窓口を 設置しています。



●相談専用電話
0857-21-1713

●メール
t-jinken@tottori-jinken.org

相談日 時間 毎週水・土・日曜日 9時~17時まで

※祝日、年末年始、県民ふれあい会館の休館日は除く
※受付は16時まで

センターマ 人権を学んでみませんか?

- 人権を学ぶ小冊子・リーフレット・ポスター
- 様々なテーマの研修に講師を派遣
- コミックが充実!人権ライブラリー (無料ドリンク付き)
- 啓発動画 YouTube 公開中 (下記 QR コードより)



YouTubeを
チェック!!

公益社団法人 **鳥取県人権文化センター**

〒680-0846鳥取県鳥取市扇町21 県民ふれあい会館2階

TEL.0857-21-1712
(人権ライブラリー/TEL.0857-27-2010)
Mail : t-jinken@tottori-jinken.org



*広告とは広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。